

図書館部報

岡崎市現職研修委員会
学校図書館部
平成31年3月18日
No. 4

読書に親しむきっかけ

岡崎市現職研修委員会学校図書館部
指導員 岩津中学校 豊永 晶子

「本を読む姿が見られるようにしたい」「気に入ったジャンルの本ばかり読んでいるので、幅を広げたい」など、読書指導で研究授業をされる先生方の子供への願いは、ほぼ一致しています。指導員訪問では、「読み聞かせ」「読書郵便」「話の続きを考える」など、さまざまな手法を用いて、「読書は楽しい」「読書に親しもう」という思いを子供の心に宿そうとしていました。

さて、読書に親しむきっかけは何でしょうか。私自身の経験から考えてみたいと思います。

幼い頃から本を読むことは嫌いではありませんでした。しかし、ジャンルが偏っていました。小学生のころは、アルセーヌ・ルパンシリーズ、怪人二十面相シリーズ、その後は赤川次郎の「三毛猫ホームズシリーズ」など、ミステリー系がほとんどでした。親から「文豪の作品や伝記なども読みなさい」と言われても、全く手に取りませんでした。

そのような読書歴を経て、大学1年の時、読書傾向が変わる経験をしました。一般教養「日本文学」の講義。最初は短めの作品を読み、そのあらすじを書くというものでした。しかし、そのうち、毎週、教授が指定した作品を読み、感想文を書いてくるという課題が出されました。当然、夏休み中もありました。大学は休みが長く、2か月あります。ということは、8週間、8作品が指定されました。しかも、文庫本にして1作品が5冊に及ぶものもありました。夏目漱石、芥川龍之介、田山花袋、森鷗外、尾崎紅葉……。かなりの数を読んだので忘れてしまいましたが、まさしく、文豪と言われる人々の作品を、時間があれば読む、という日々を過ごしました。単位を取るために読んでいたので、それらの作品を味わうどころではなく、感想文も悲惨なものでした。そして、1年が終わり、無事、単位が取得できたときは、ほっとしたというのが正直なところでした。

その後、谷崎潤一郎、三島由紀夫、川端康成など、文豪の作品に興味をもちました。全作品とはいきませんが、自ら手に取って読み、そして、それぞれの作家のカラーを自分なりに感じるようになりました。親から「読みなさい」と言われても読まなかったジャンルの本を、抵抗なく手にすることができるようになったのは、あの「日本文学」の講義で鍛えられたからだと思います。強制的に読まされた状態ではあったけれど、私自身にとっては、結果として良い経験になりました。

読書に親しむきっかけ。やはり、子供に任せていても、「本を読む姿」「幅広い読書」にはならないように思います。先生方が仕掛ける手だて。読み聞かせ、ブックトーク、ビブリオバトル、読書郵便など、さまざまな手法。それだけでなく、授業の内容に関連した書物を最初に紹介したり、教室に読んでほしい本を置いて、僅かでも読む時間を確保したりと、工夫することで子供と本を引き合わせることができると思います。加えて、それを何度も積み重ねることが大切です。

「読書は楽しい」「いろいろな世界を知ることができておもしろい」といった思いを子供がもつことができるように、読書に親しむきっかけ作りを心がけていきたいものです。



岡崎市小中学校読書感想文・読書感想画コンクール 優秀作品

本年度のコンクールには、17,678点の読書感想文、20,099点の読書感想画の応募がありました。審査の結果、次の作品が各賞に選ばれ、2月1日(金)の第54回岡崎市小中学校読書感想文・読書感想画コンクール表彰式にて、表彰されました。

・市長賞〈読書感想文の部〉

本宿小学校	1年	富田	絢太	『がっこうだっってどきどきしてる』をよんで
奥殿小学校	4年	杉浦	叶華	『くまとやまねこ』を読んで
岩津中学校	1年	朝岡	俊亮	「僕を生きる、人と生きる」



・市議会議長賞〈読書感想文の部〉

井田小学校	2年	藤川	晟那	「パパとママのつかいかた」
六名小学校	6年	松井	咲弥	「みんなちがって、みんないい」
城北中学校	2年	為水	ひなた	『千年の田んぼ』を読んで

・岡崎南ライオンズクラブ会長賞〈読書感想画の部〉

井田小学校	2年	藤川	晟那	「あげはがうまれた時」
根石小学校	6年	深尾	胡春	「子ヅルのもとへ、さあはやく」
六ツ美北中学校	2年	山本	愛華	「争いからの脱出」



・岡崎市教育委員会賞〈読書感想文の部〉

羽根小学校	1年	永井	玲奈	「くろコインがたまりませんように」
三島小学校	1年	池田	葵	「がんばるおとなになる」
竜美丘小学校	2年	鈴木	佐和	「あててみよう 虫のことば」
城南小学校	2年	倉地	留衣	「学校の気もち」
城南小学校	3年	川澄	桃子	「大切な味方」
藤川小学校	4年	新家	咲綾	『すごいね！みんなの通学路』を読んで
城南小学校	4年	内田	結	「友達っていいな」
山中小学校	6年	小川	凧	「認知しょうの人への接し方を考える」
小豆坂小学校	6年	前田	紗季	「残してくれたメッセージ」
下山小学校	6年	嶺澤	僚太	「かい護について考える」
六ツ美中学校	1年	阿部	かえで	「強い心をもつ」
葵中学校	3年	成田	悠紗	「時代を超えてつながるもの」
竜海中学校	3年	平間	ふゆ	『旅する木』を読んで
矢作北中学校	3年	江本	恵	「一〇五度の関係」



〈読書感想画の部〉

羽根小学校	1年	加藤	もも乃	「ウォー！なんでにげるんだあ」
六ツ美西部小学校	2年	犬塚	心路	「友だちといっしょに雪がっせんをしている カラフルなエルマー」
岡崎小学校	3年	大浦	実桜	「夜空の光の中で」
矢作東小学校	4年	八田	奈菜子	「波っていくつだろう？」
広幡小学校	5年	天野	瑞暉	「メリウェザーさんのために」
六ツ美中部小学校	5年	鈴木	悠士	「ぼくの夢のぼうし」
美合小学校	6年	本間	あかね	「神秘の川」
六ツ美北中学校	2年	山本	ひより	「魔法の力を信じて」



作品は、「読書感想文・読書感想画優秀作品集」に掲載されています。多くの作品に触れて、次年度の指導にご活用ください。